

三里塚・ジエット闘争貫徹！「国鉄35万人体制」粉碎！

横堀共同墓地奪還！二期年内着工阻止！96万署名人へ

夏草繁れるこの横堀共同墓地に、全国の両う人々の目が注がれている。

この地に生える草一本も、雑木一本も敵に渡してなるものか、と今改めて決意する。碑に刻まれた明治三十六年開墾の歴史は、八十年というゆずかな歳月の中で空港によつて今こわされようとしている。

一振りの鋏からもう一人の鋏握ぎる手を、更にもう二つの鋏を増やし、働くことの大切さと喜びを、生きるために努力を、開墾の歴史は、人々に教えたであろう。

しかし今、我らの敵、政府公団は、開墾の中で、両り、生き抜いてきた人々の歴史を、そのなきがらを、一つ二つこの地から奪い去ろうとしている。

公団よ！お前たちにこれを渡してなるものか。お前らにこれをさめらせてなるものか。我々横堀部落の反対同盟員は、お前らのうす汚れた手で掘り返された横堀開墾の歴史を、再びここから創り出す。そのオ一步を先日踏み出した。墓地奪還・二期阻止の大立て看板、そして裁判での両いにと。もうこれ以上、敵に土地は渡さない。

いや、我々が失つてきたものを、一つ一つ今から逆に奪い返さねばならない。全国から集まつた全ての両う人々の力で、一人一人の部落の民の創意と工夫で。そしてその力を反対同盟全体の力へと推し進めよう。

一九八一年八月十三日

横堀反対同盟

(横堀墓地内集会
での熱田誠さんの発言)

「バアちゃんは『空港を一生憎む』と死ぬまで言い続けた。
そのバアちゃんを埋めた墓地を公団にとられるなんてしのびない、必ず奪い返さねば」と
熱田一さん(反対同盟副行動隊長)。
バアちゃんー熱田副行動隊長の母堂、故熱田すいさんは、今年一月、82才で亡くなるまで空港反対のハチマキをはなぎった。小柄でキビキビした陽気なすいさんは支援の学生を孫のよういかめいがつた。倒れるまで老人行動隊の柱として岩山記念館での坐り込みに通い続けたすいさんは、今、その体を横堀の墓地に横たえ、死してなお、空港を阻んでいる。横堀共同墓地は敷地内に滑走路予定地をブッタ切る拠点であり、何よりも土に生き土に帰る農民の「心の砦」でもある。『日刊』No.827(8月号)

千葉県知事の会談

二期工事強行宣言のもとで、公団は、「このような全く不法不当な『墓どうぼう』の暴挙までやつて、二期強行を狙っているのだ。断じて許すな！」

二期攻撃そのものとしてある、権力当局。大爆発で粉碎しよう。9.6に決起しよう！

日刊
動労千葉

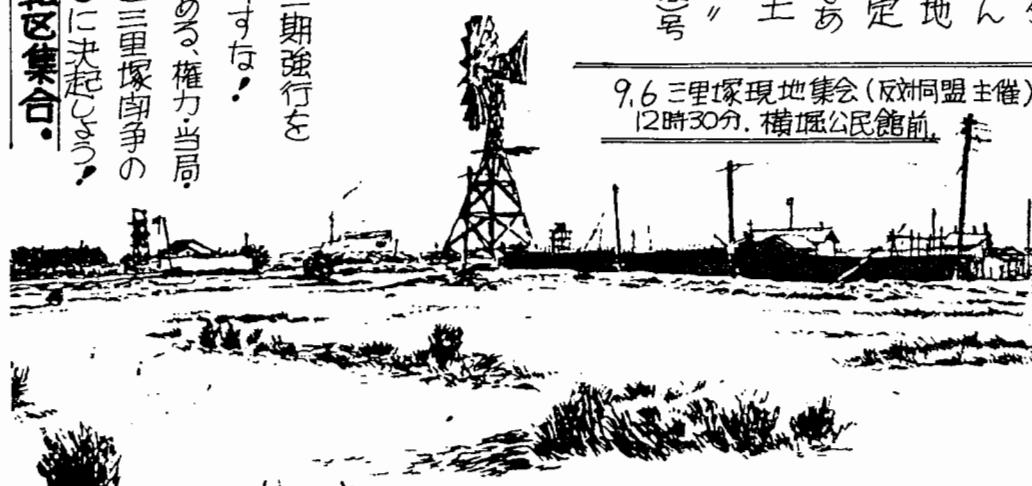
81.8.31
No.833

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五七六・(公衆)四三三二二七二〇七

9.6 三里塚現地集会(反対同盟主催)
12時30分、横堀公民館前

土日 塩川運輸相・沼田



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

木根全景 1981.5.20

石井博道